

鈴鹿市総合雨水対策基本計画（案）に関する意見公募への意見・対応一覧表

※募集期間：平成31年1月21日（月）～平成31年2月20日（水）

※意見提出者数： 2名

※意見件数： 10件

No.	頁番号	章	ご意見概要	回答要旨	対応案
目的・現状と課題に関すること					
1	1	1	<p>目的について、気候変動適応法が施行されており、関連部分について、ある程度対応した表現で表記するべきではないか。</p> <p>■関連ページ A-PLAT「自然災害・沿岸域への影響」 <a href="http://www.adaptation-platform.nies.go.jp/impact/disaster/disaster_impact.html">http://www.adaptation-platform.nies.go.jp/impact/disaster/disaster_impact.html</a></p> <p>「全国各地において異常気象による豪雨や台風の大型化により浸水被害が頻発しており」 → 「全国各地において異常気象による豪雨や台風の大型化により浸水被害が頻発しており、洪水を起こしうる大雨事象が日本の代表的な河川流域において今世紀末には現在に比べ有意に増加すると予想されている。」</p> <p>「このような状況に対して、・・・」 → 「このような状況に対して、国では平成30年6月に気候変</p>	<p>気候変動適応法では、農業や防災等の各分野における適応対策の推進を求められています。</p> <p>本計画とは、自然災害等の分野に関連していますが、同法は、公布されて間もないこともあり、今後の国・県の適応対策への動向を注視し、検討をしていきたいと考えています。</p>	原案のとおり

No.	頁番号	章	ご意見概要	回答要旨	対応案
			動適応法を公布，自治体にも自然的経済的社会的状況に応じた対応を求めている。」		
2	4	2	最後から2行目「雨水の流出」とあるが、「雨水の流入」ではないのか。	雨水流出抑制の用語から引用し，本計画では「流出」の表現をしています。	原案のとおり
3	5	2	「中ノ川」は記述しておかなくてよいのか？	二級河川中ノ川は，三重県が管理する堀切川や金沢川などの河川のひとつとなりますが，本計画においては，P12，P13の重点地区の選定に関連付けた表示としています。	原案のとおり
4	7	2	排水機場一覧の表について，「設置年」もしくは「建設年」を表に加えた方がよいのではないのか。	ご意見のとおり追記します。	P7 排水機場等一覧表に設置年度を追記する。
5	11	3	10年確率降雨について，スペースがあるので，数値の記述を追加した方がよいのではないのか。	10年確率降雨の数値は地域毎に異なる為，補足説明に記述を追記します。	P11下段の用語説明 10年確率降雨に雨量の数値を追記する。

No.	頁番号	章	ご意見概要	回答要旨	対応案
重点地区の選定について					
6	12, 13	3	<p>重点地区（Bランク）に、「若松」を追加すべき。</p> <p>若松地区が重点地区外になっているが、金沢川上流域および田古知川ブロックなどでの改修が進めば、山中地区のポンプ場の機能をはじめとして、課題が出てくるのではないかと考える。特に近鉄線が河川上を通過しており、重要度も高いと考える。①のエリア。</p> <p>また、若松漁港近辺の雨水排水能力の関係で、浸水が起きやすい地区が、流末の海岸線部だけでなく、若松駅を中心とした周辺にも存在している。②のエリア。交通の要所と考えれば、Bランクの地区に入れてよいと考える</p>	<p>本計画は、選択と集中を方針のひとつとして、市内を30ブロックに分割し、家屋浸水実績(床上・床下)により、重点地区の選定をおこない優先度を決定しています。</p> <p>ご意見をいただきました地区をはじめ、重点地区以外の地区における対策については、浸水の原因に応じた対応を順次していきます。</p> <p>また、計画策定後に新たに浸水が発生した箇所などは、浸水被害の状況により、整備を優先的に検討していく方針です。</p> <p>今後の計画見直しに際しての、ご意見として賜ります。</p>	原案のとおり

No.	頁番号	章	ご意見概要	回答要旨	対応案

No.	頁番号	章	ご意見概要	回答要旨	対応案
整備計画における施策に関すること					
7	41	4	(3) 避難情報の提供, について, 台風や豪雨などについて, タイムラインによる注意や避難喚起を行う考えはないのか?	ご意見として賜ります。	原案のとおり
8	42	4	(4), (6) に関係するが, 消防, 消防団, 市職員による情報収集と発信を考えるべきでは。「すずか減災プロジェクト」への掲載も含めて取り組むとすべきでは。	ご意見として賜ります。	原案のとおり
9	41	4	内水, 外水の課題がありますが, 今回外水の問題につき述べます。 鈴鹿川, 堀切川, 中ノ川等外水氾濫に対する防災意識を高め浸水被害を最小限に抑えるとありますが漠然とした内容です。 1.定期的な改修計画の進行状況等講習会を御願いしたい。 2.防災意識高揚は大切ですが, これだけで浸水被害防止の決め手にはならず, ハード, ソフト面の改善が第一と思われます。これを具体的に示して下さい。	ご意見として賜ります。	原案のとおり
10	33	4	堀切川整備計画に関しては河川管理者の三重県と調整を図りながら河川改修を行うとあります, しかし何をするのか判りません。県が主体の事業についても要点を記載して欲しい。それなしで鈴鹿市総合雨水対策基本計画として不十分と思います。又この改修により具体的にこの地域の浸水がなくなることを可能な限り示して下さい。	本計画では, 堀切川ブロックにおいて, 市が行う施策を示しています。 市が管理する準用河川堀切川の河川改修は, 三重県が管理する下流の二級河川堀切川の河川整備計画との十分な調整が必要	原案のとおり

No.	頁番号	章	ご意見概要	回答要旨	対応案
			<p>堀切川水位上昇による 避難準備, 避難勧告, 避難指示発令の状況</p> <p>堀切川は集中豪雨や台風襲来や接近があるたびに水位上昇により当地域は殆ど毎年の様に避難準備, 避難勧告, 避難指示が発令される状況です。数十年に一度程度ならやむを得ないかもしれませんが, こんな状況では安心安全な生活が根底から崩されます。</p> <p>昨年 9/30の台風24号の時は降雨が少なかったにも関わらずに氾濫危険水位の3.68を超えて3.74mまで上昇, 市内で唯一避難指示が出ました。危険極まった状態だったと思われます。一旦堤防を越水し, 決壊すれば沢山の家屋に浸水し甚大な被害を受け, そして場合により人命にも関わるところです。</p> <p>こんな事態にならない様 短, 中, 長期のハード, ソフトを含めた抜本対策をお願いするところです。</p> <p>1970.7(昭和 49 年 7 月) 豪雨では中ノ川, 堀切川決壊により床下, 床上浸水 5000 戸以上の被害が出ました。</p> <p>最近の堀切川水位, 避難勧告, 指示などの履歴</p> <p>2012.9.30 台風17号 氾濫危険水位 一部越水あり</p> <p>2014.8.9 台風11号 水位 3.4m避難指示 特別警戒</p> <p>2015.8.25 台風15号 水位 3.03m</p> <p>2017.10.22 台風 21号 水位 3.4m 避難勧告</p> <p>2018.9.30 台風 24 号 水位 3.74m 避難指示</p>	<p>となります。</p> <p>三重県の計画である二級河川堀切川水系河川整備計画は, P38のURLを添付していますが, その河川整備ならびに維持管理につきましては, 本市からも継続して要望をしていきたいと考えています。</p> <p>ご意見, ご要望として賜ります。</p>	

No.	頁番号	章	ご意見概要	回答要旨	対応案
			<p>参考 水防団待機 3.3m 氾濫注意 3.3m 避難判断3.3 氾濫危険 3.68m</p> <p>ハード対策 流下能力向上について 下流部分は引堤による拡幅工事が進められつつありますが、上流部の流下能力向上はどの様に改善されるのですか。 特にR23 以西については堤防高さがあまりにも低い、それ故簡単に氾濫危険水位に達してしまう、流下能力向上と氾濫の危険をなくすため、堤防のかさ上げと一部浚渫が必須と素人目ながら思います。 堤防高さの制限につき以前（100年以上前）の取り決めがある様に聞いていますが、当時と現在で土地利用の形態が上流部の開発と中流下流部の宅地化など見違えるほど大きく変容しており、それに適合すべく科学的に検証しより良い方向に変えるべきと強く思っています。また集中豪雨対策として遊水池の確保も必要と思います。</p> <p>ソフト対策 ソフト面では情報連絡、避難方法などいろいろあると思いますが、ここでは 施設の有効な活用と言う観点から述べます。具体例で昨年の台風 24 号により高潮警戒と堀切川の水位上昇から要の堀切川水門閉鎖と排水ポンプ運転がなされたと思いましたが、</p>		

No.	頁番号	章	ご意見概要	回答要旨	対応案
			<p>適切なタイミングだったか、そしてポンプ運転が遅れた等 課題があった旨過日の防災講演会でも聞きました。適切な水門の開閉と排水能力 1200ton/minのポンプがフル稼働しておれば水位上昇が抑えられたとも想定します。</p> <p>非常時の迅速なコミュニケーション，施設の点検整備，連携体制，マニュアル，行動基準見直しそして日頃の訓練などをお願いします。</p> <p>毎年の様に避難勧告，避難指示をださなくても良い様に色々な面で計画し実施を切望します。</p> <p>以上，堀切川の外水氾濫の危険につき，意見の一端を述べましたが，鈴鹿市の雨水対策としてとらえ，可能な限り，計画に織り込んでいただく様お願いするところです。</p>		